

ファイル管理－4

・ディレクトリの削除－1

`rm dir` ディレクトリ名

→ ディレクトリが空の場合に有効。

・ディレクトリの削除－2

`rm -R` ディレクトリ名

→ ディレクトリが空でない場合でも、再帰的 (Recursive) に削除。

*ディレクトリはファイル名とファイルのディスク上の位置とを項目とするリストである。

⇒ 2つの異なるディレクトリ上にあるファイルが共通の実体を持つ「リンク」を作成できる。

[キーワード: リンクカウント] “`ls -l`” の表示で第2フィールドに表示される。

- ① ファイルの場合 1つの実体にいくつのパスがリンクされているか (リンクがなければ1)
- ② ディレクトリの場合 作成時は2で、サブディレクトリ数が増えるたびに1ずつ増える。

・ハードリンク

`ln` 既存のパス名 1 / 既存のファイル名 既存のパス名 2 / リンク先のファイル名

・シンボリックリンク (ソフトリンク)

`ln -s` 既存のパス名 1 / 既存のファイル名 既存のパス名 2 / リンク先のファイル名

`ln -s` 既存のパス名 1 既存のパス名 2 / リンク先のディレクトリ名

課題 1

- 1) `mkdir temp1` で、`temp1` という名前のディレクトリを作成する。
- 2) `mkdir temp1/temp2` で、`temp1` の下に `temp2` という名前のディレクトリを作成する。
- 3) `cd > temp1/temp2/nov.txt` で、ファイル `nov.txt` を作成する。
- 4) `cd temp1` で、作業場所を `work` ディレクトリに変更する。
- 5) `rmdir temp2` ではディレクトリ `temp2` が削除できないことを確認する。
- 6) `rm temp2/nov.txt` を実行した後、`rmdir temp2` で `temp2` を削除する。
- 7) `cd ..` を実行した後、`rmdir temp1` で `temp1` を削除する。
- 8) 上の 1)から 3)までを実行した後、`rm -R temp1` で `temp1` 以下を再帰的に削除する。

課題 2

- 1) `ssh` コマンドで Linux サーバにログインする。
- 2) 課題 1 の 1)から 3)までを実行した後、`ln temp1/temp2/nov.txt temp1/nov30.txt` を実行。
- 3) `cd temp1` を実行した後、`ll` 及び `ll temp2` で確認。`rm -R temp2` の後、`ll` で再度確認。
- 4) `cd` を実行した後、`ln -s temp1 temp3` を実行。`ll` 及び `ll temp1` で確認。`cd temp3` を実行。
- 5) `ll` で確認。`mkdir temp2` を実行した後、`cd` を実行。`ll temp3` 及び `ll temp1` で確認。